

各位 殿

平成 14 年 7 月 18 日
JTU 東北ブロック協議会
理事長 蒲生 光男

第二回理事会報告

期 日 平成 14 年 6 月 29 日 (土)
場 所 渋谷フォーラム 8
時 間 午前 10 時より午後 1 時 30 分

《議 題》

(1) 5 万人計画について (参考 ; JTU OFFICIAL HOME より)

J T U 発 第 0 1 3 2 4 号
2 0 0 2 年 (平 成 1 4 年) 2 月 1 2 日
加 盟 団 体 御 中

(社) 日 本 ト ラ イ ア ス ロ ン 連 合 : J T U
理 事 長 荒 井 憲 二
総 務 委 員 長 尾 澤 義 仁

トライアスロン・ジュニア教材キット 配布先中学校の推薦について (お願い)

現在、JTUでは、平成18年度の実現をめざした「トライアスロン登録会員5万人計画事業」を推進しております。その主要事業として、全国の中学校での指導者育成およびジュニア会員増大のために企画された<トライアスロン・ジュニア教材キット>がこのほど完成致しました。関係方面への配布は5月からの予定です。

全国の中学体育教育の指導的立場にある先生方とJTU強化・指導者育成委員会との連携により監修・執筆されたキットの内容・数量は、次のとおりです。

- (1) 生徒・指導者用ビデオ (2部構成・計45分) 3,500本
- (2) 生徒用テキスト (全24ページ、4色刷り) 20,000冊
- (3) 指導者用テキスト (全16ページ、4色刷り) 10,000冊
- (4) あいさつ文書、他

配布は、次を基本に実施させていただき予定です。

- (1) JTU加盟団体：ビデオ1本とテキスト各1冊を送付
- (2) JTU加盟団体の推薦する中学校・スポーツ施設：希望数に沿った配布対応。
数量調整あり。

(3) その他、JTU 主催関連大会および、各地からの希望により対応

つきましては、地域の中学校そして先生方・指導者の方に、説明の機会などを設けられ、興味を持っていただける方々をご推薦頂けるようお願いいたします。

お申し込みは、同封の用紙に必要事項をご記入の上、ファックスにてJTU事務局 (Fax 03 - 5469 - 5403) 宛、ご返信いただけるようお願いいたします。

= 以上 =

前回理事会の決定事項より (会議録より)

2) 5万人計画 (資料3) 荒井理事長、大塚事務局長

a) トライアスロン・ジュニア教材用ビデオを視聴し、意見交換に移った。

ビデオの評価は全般に高いものであった。内容にかたい印象があったとのことについては、高嶋広報副委員長から、「テキストでは、分かりやすく、柔らかな内容となっている」ことが説明された。

また、競技面からは「ドラフトゾーンの説明が10mとなっているが、正しくは5mであること」、「女性選手のイメージが少ないこと」が指摘され、「今後DVD版の作成」も提案された。

さらに、全体にエリート選手ばかりでなく遅い選手も登場させて、努力してトライアスロンに取り組んでいる姿もほしいとのコメントもあった。

以上の意見の総括として、和田副会長から、「20年間のトライアスロンの魅力を再認識した、これをぜひ生かしてほしい」との言葉があった。

b) 配付方法について、荒井理事長から、今後、加盟団体が中心になって問合せや各地からの要望に応えていかなければならないこと、そのためには、団体の整備が必須であることが強調された。

これについて、各地の教育委員会と連携を取って準備に入っていることが報告される一方、昼間には十分に対応することが難しい加盟団体があることが報告された。この解決のために、JTUが総合窓口を作ることの要望も出された。

これらをまとめるかたちで、荒井理事長は、各ブロック理事が地域に戻り、ビデオをみて、どこに配付するか、問合せ窓口はどこになるか、などを6月中に決めてほしいことを要請した。

また、このビデオを全国各地に配付すれば、良好な反応が得られるはずで、これがメディアにも取りあげられ、さらに波及効果が期待できるとの意見も提出された。以上を受け、荒井理事長は、6月から7月上旬には配付済みとした。

以上の後に、このビデオを各県の加盟団体と現在申請のある学校などに速やかに配付することについて、全員の挙手により承認となった。

c) 小学校プログラム (大塚事務局長)

小学校用ビデオの作成について説明があった。これは、楽しく分かりやすいことを心がけていること、テキストも作成する。総合監修には、尾澤総務委員長を予定していること、今年の8月末までには完成することが補助金対象の条件となっていることなどが報告された。

今回話し合われた事

各県の取り組みについて報告を求められた。東北ブロックとしては、すでに福島全県中学校に配布予定のほか、これから各県理事が県教育委員会にお願いする事になると報告しました。

一部、愛媛県は全県配布のほか各ブロック理事報告についても、東北と同様の意見が報告された。

各県理事にお願い

各県の理事の皆様は、各県教育委員会に対して、中学校向けテキスト配布の意向を打

診していただけないでしょうか？ 結果についてご報告をお待ちしております。次回の理事会は9月21日ですので、八月末までご報告をお願いいたします。

小学校向けテキストについて（資料参照）

JTU理事会・総会 御中 <2002年6月29日提出資料>

中学校関係者の資格などにかかわる対応につき、次を提案します。まずは、指導者育成委員会からの資格発給には直接かかわるものとはせず、広くトライアスロンの指導そして普及に貢献願える方々との相互協力関係への第一歩を目指すものです。

<配付案文> =====

加盟団体、トライアスロン関係各位

トライアスロン・ジュニア教材ビデオとテキストの全国配付にかかわり、今後とも継続的なご支援をお願いするとともに、JTUからの情報提供など幅広い相互協力関係ができることを期待いたしております。

つきましては、これらを具合的に推進するために、今後、本ビデオとテキストなどをおしトライアスロンに興味をお持ちいただいた先生方を、社団法人日本トライアスロン連合の友好会員(JTUメンバー)としてお迎えすることと致しました。

つきましては、次の要領により、小中高校でのトライアスロン普及のために当メンバー制度を適用させていただくことをご案内申し上げます。

(新規に取込みを
考える)

記

- 1) JTUメンバー対象者: 小中学校の教職員およびスポーツ関連施設スタッフ。
- 2) 登録期間: 1年間を基準とし、当面の間、自動延長とする。
- 3) 会費・登録費: 無料
- 4) JTUメンバーカード: 発行する。
- 5) 定期配付物: JTUマガジン、関係資料の定期配付

備考: 以上をご希望にならない場合は、その旨お申し付けいただけるようお願いいたします。

正規の会員証と同色で、NOを入れない。教育委員会が許可したものでなければ配布できないので、ブロック理事が中心となり、県教育委員会から許可をもらえるように努力する、ことが提案された。これらは、中山正夫資格統括本部長よりの報告であった。

ブロック報告について

東北ブロック協議会報告として、日本選手権大会ブロック代表選考大会結果について、男子1名を推薦、2人は主催者枠に返上する、女子は8月4日開催の原町大会の結果を見て決めると報告しました。

これに対し、大塚事務局長より、今頃返上するといわれてもどうしようもない、もっと早くできないのか?の発言があり、私は唖然としました。JTU 指定の推薦様式にもその記載があり報告したものです。事務局長の発言をそのまま受け入れる事になれば、代表選考

大会開催前に結果を出さなければならなくなる、また、予測できない強い選手が大会で出た場合、などいろいろ考えるとどうしてもシーズン前に東北枠について確定する事は困難であり、無茶な発言と思いました。

総務委員長や、中山委員などの見解でもありましたが、東北枠について現状から動かす訳にはいかないだろう、枠いっぱい選手を推薦できないとしても、それは結果論であり仕方ない事、としてその場は時間の関係もあり終わりました。参考まで、四国ブロックも返上しているとのことです。

いずれにしても、いずれ理事会でこの発言についてしっかり議論しなければならないと考えています。理事各位のご意見ありましたらお願いします。

次回理事会は、9月21日(土)福岡県にて開催予定です。

一括配布について(資料参照)

総務ブロック連絡員各位

2002年6月24日

(社)日本トライアスロン連合
総務委員長 尾澤 義仁

JTUマガジン一括送付の本格実施について

表記の件について先日の総務委員会にて次のように案がまとまりました。つきましては、下記内容をブロック内の加盟団体事務局等に送付いただき、加盟団体内で検討の上6月29日の総会に意見をお寄せ下さるようお願いいたします。

1. 実施時期
2003年4月号より

2. 送付対象

4月号	2002年度会員
6月号	4月末日までに手続きを完了している会員
8月号	7月15日までに手続きを完了している会員
10月号	9月末までに手続きを完了している会員
12月号	11月末までに手続きを完了している会員
2月号	12月末までに手続きを完了している会員

*「手続きを完了している会員」とは更新、新規にかかわらず、JTU事務局に会員データの送付と登録費の振り込みの両方が完了していることを指す。

3. その他

- ・12月末でその年度の更新手続き及び新規登録は締め切り、その後は翌年度に向けての更新手続き及び新規登録手続きのみとする。(今年度より実施)
- ・加盟団体事務局には別途に100部ずつ送り、地域での普及活動や、登録手続きの遅れた会員へのサービス等に使用してもらう。
- ・来年度より「JTUマガジン送付補助金」は廃止する。

テスト送付した段階で、10パーセントの宛名不明で返却がある。再送付は各加盟団体で行なう。などについて話し合われました。